

(3) 吉野三町都市計画区域の将来像

本都市計画区域においては、良好な自然環境と調和した居住環境の向上を図るとともに、地域内外の人々が交流・連携できる基盤づくりを進める。このため、吉野町、大淀町及び下市町を吉野地域全体の玄関口として位置付け、それにふさわしい都市機能の集積を図りながら、それらを核として地域全体の発展につながるよう、自立性の高い地域づくりを推進する。

①吉野地域の発展を牽引する中枢拠点の形成

- ・吉野地域の玄関口として、情報交流拠点である吉野路大淀 i センターの観光案内機能との連携を図りながら、大淀町の近鉄下市口駅周辺地域を生産・物流機能、商業機能、居住機能等多様な都市機能が集積した、地域の発展を牽引する拠点としての形成を図る。

特に、未分譲地を有する既存工業団地等においては、工業系、物流系の産業機能としての集積を促進する。

②交流を促す地域連携軸の形成

- ・本都市計画区域においては、西部の五條市、北部の橿原市、南部一帯の吉野地域との連携を強化し、交流を基盤とした発展を図るため、国道 169 号高取バイパス、県道桜井吉野線など交流を促す地域連携軸の形成を図る。

③ゆとりとるおいのある地域環境を演出するレクリエーション空間や水と緑の観光交流軸の形成

- ・地域の美しい自然環境や景観を創出する紀の川（吉野川）、吉野山周辺を観光交流拠点として位置付け、自然環境や歴史文化遺産を活かした奈良らしいレクリエーション空間の形成を図る。
- ・本都市計画区域の東西に流れる紀の川（吉野川）沿いについては、美しい自然環境と景観の創出を図り、水と緑の観光交流軸（歴史街道を含む。）の形成を図る。
- ・本都市計画区域と大和都市計画区域をつなぐ橿原～明日香～吉野の観光交流軸（歴史街道を含む。）の整備を進め、世界遺産として登録された「吉野・大峯」と「熊野三山」の二大霊場を結ぶ「大峯奥駈道」、「熊野三山」と「高野山」を結ぶ「小辺路」の古道などの歴史的空間との連携を強化する。
- ・若年層の定住化を図るため、これら自然環境や地域特性を活かした田園居住を促進する。

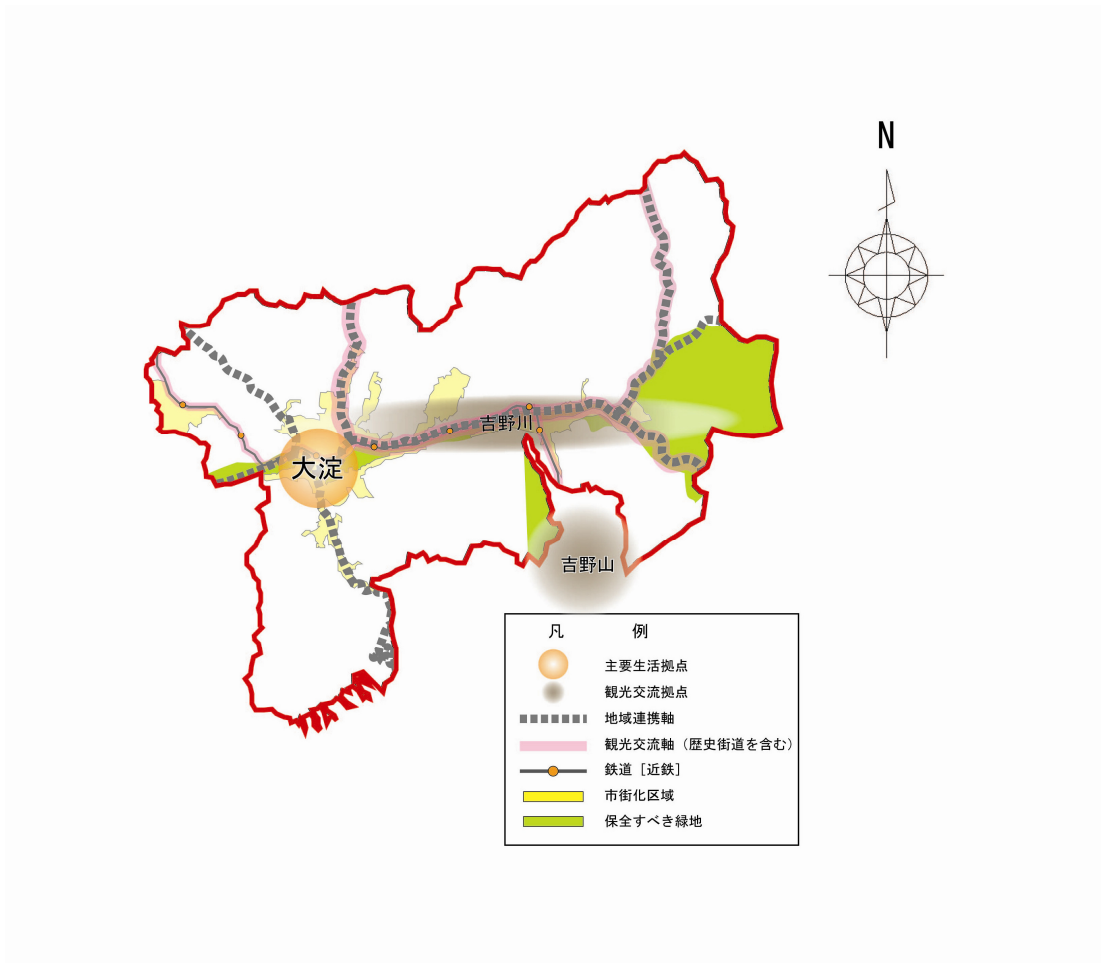


図2-7 吉野三町都市計画区域の将来都市構造のイメージ図